

第2次府中市生涯学習推進計画における重点施策の成果

【3つの重点施策】

1. ワークショップ（発表・活動・交流の場）の充実
2. 生涯学習サポート（学習活動の支援・相談・情報提供）の創設と推進
3. 地域の生涯学習の担い手（生涯学習ファシリテーター）の育成と活用

<目的>

- ・「学び返し」を通じた地域教育力の向上の推進、市と市民、地域、各種関係機関などの連携・協働の促進
- ・第5次府中市総合計画の基本目標のひとつである「人と文化をはぐくむまちづくり」の実現

【概要と成果】

1、ワークショップ（発表・活動・交流の場）の充実

学習活動のはげみとなるよう、また、その成果を広く社会に役立てることができるよう、発表・活動・交流の場を確保する。

また、さまざまな世代・ライフスタイルの市民が、さまざまな施設などを活用して交流することで、学習グループの自主的な発表活動を支援するとともに、ボランティア活動、地域の交流活動、学習活動の協力者として活動する場を提供する。



市民の日頃の学習成果を発表する場の提供と地域間・世代間の交流の推進を目的として、生涯学習フェスティバルではワークショップの充実を図った。

また、1000団体以上ある社会教育関係団体への生涯学習支援を行った。具体的には活動の場の支援、体験会や発表会の広報活動への支援、研修のためのバスの貸出し等を行った。

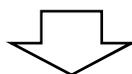
【生涯学習フェスティバル実績】

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
市民発表	18団体	20団体	21団体	24団体
市民作品展	378点	395点	340点	353点
サウンドフェスティバル	14団体	12団体	14団体	15団体
ワークショップ	21団体	16団体	15団体	16団体

2、生涯学習サポート（学習活動の支援・相談・情報提供）の創設と推進

従前の「カレッジ・リーダーバンク」を発展させ、「学び返し」の一環として、市内に住むさまざまな知識や能力、経験を持つ方を「生涯学習サポーター」として紹介する。さらに、学習活動についての相談や情報の提供についての相談を「生涯学習サポート」として受け付け、広く対応する制度を確立する。

また、市の他機関とも連携し、講師紹介などの範囲も広げ、自主的学習を進めている方々へ紹介することで、柔軟かつ迅速な支援を可能にする。この登録・活用に関し積極的な周知・広報活動を研究・推進する。



【サポーター登録者数】

H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
78人	67人	81人	68人

【サポーター派遣依頼数】

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
【内訳】	12件	9件	11件	13件
文芸	0件	0件	0件	0件
音楽	5件	3件	2件	0件
舞踏	2件	0件	1件	0件
美術・工芸	1件	1件	1件	1件
生活文化	2件	2件	1件	2件
人文・自然	0件	1件	0件	0件
その他	2件	2件	6件	10件

<現状・課題>

サポーター登録は2年ごとに更新であり、更新時の平成26年度と平成28年度は登録者数が減っている。減少理由としては、登録者の高齢化や派遣依頼が少ないこと、更新手続きの手間等が考えられる。

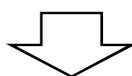
登録者数に対し派遣依頼数が少ないことが課題。

<対策>

サポーターの活用の周知と更新手続きの見直しが必要。

3、地域の生涯学習の担い手（生涯学習ファシリテーター）の育成と活用

地域における「学び返し」を推進していく中で重要なことは、行政と地域、家庭だけでなく、さまざまな社会資源も含めた「社会的つながり」を深め、人材の発掘と活用を図り、相互連携が可能なネットワークを構築することにある。それぞれを連携させる際の役割としての地域の担い手（ファシリテーター）を育成し、「生涯学習ファシリテーター」として、協働による生涯学習活動の推進を図る。なお、NPOや市職員、学校関係者、地元企業などの関係者なども担い手として連携を図る。



【養成講座修了者数】

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
初級	9人	17人	6人	6人
中級	6人	6人	8人	5人
上級	10人	4人	4人	7人

<現状・課題>

修了者数は減少傾向にある。理由としては、1年ごとに初級・中級・上級を受講するため上級修了までに3年かかっていたことや規定回数を受講が必要なことから途中で断念する人がいた。

また、ファシリテーター養成講座修了後、具体的な支援策や期待される役割が明確でないことが課題。今後、活用制度を充実させることが課題。

<対策>

平成29年度からは1年度で上級修了まで可能な体制に変更した。修了者へは、フォローアップ講座の受講や市民企画講座、サポーター登録制度の案内を行っている。

【事務局用】

※ 平成22年度開始。平成22年度から28年度の修了者の総計は以下のとおり。

上級	中級	初級	サポーター
31人	50人	95人	56人

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
初級	9人／13人	17人／22人	6人／8人	6人／12人
中級	6人／7人	6人／7人	8人／10人	5人／5人
上級	10人／10人	4人／4人	4人／4人	7人／7人
フォローアップ	—	—	17人	18人
サポーター	3人／7人	4人／7人	5人／9人	4人／12人